

横浜市でストロンチウム高濃度に検出

6月に福島県の11ヶ所(福島原発から22~62km)で放射性ストロンチウム90(半減期29年)が250ベクレル/kg、ストロンチウム80(半減期50日)1,500ベクレル/kgが検出されていましたが、250km離れた横浜市港北区のマンションの屋上の堆積物から195ベクレル/kgものストロンチウムが検出されました。

横浜市の側溝の堆積物から4万ベクレルのセシウムが検出されたことから、住民が付近の堆積物を民間の検査機関「同位体研究所」に検査を依頼した。同位体研究所は、「今回の分析結果は高い値なので福島原発由来だろう」と話しています。

7月にはつくば市の気象研究所が採取した大気試料から、数千度にならないと気化しない放射性物質モリブデン99やテクネチウム99が検出されて福島原発がメルトダウンからメルトスルー(炉心貫通)に至っていることを裏付けましたが、他方、揮発しにくく重いために遠くへは飛ばないとされていたストロンチウムもかなり遠距離まで飛散しており、水素爆発だけでなく「核爆発」も起きていたことを示しています。

先々週のニュースでお知らせしましたが、過去の核実験で日本にもストロンチウム90が降り注いでおり、畑土壌でも1963年の10⁴ベクレル/kgをピークに1995年には1~5ベクレル/kgが検出されています。しかし195⁴ベクレル/kgという高い値はかつてないことから福島原発由来としか考えられません。

ストロンチウムは体内に入るとカルシウムと同じ挙動を示し、骨に沈着して内部被曝を引き起こします。6月のニュースレターでお知らせしましたように、ストロンチウムの排出にはわかめや昆布の多糖類、カニ・エビなどのキチン・キトサンが有効です。

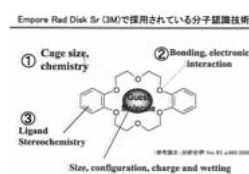
「わかめの味噌汁」はストロンチウム排出と発酵食品によるがん抑制の免疫強化になります。

横浜にある「同位体研究所」は、常総生協でもお米の精密検査を依頼した先で、住友スリーエム社が開発したエムポアという放射性核種を固相抽出する「ラドディスク・ストロンチウム」という製品を使ってストロンチウム検査が可能です。少々金額は高いですが、茨城の土壌なども検査してもらう予定です。

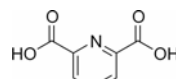
右図の上は、「エムポア・ラドディスク・ストロンチウム(Empore Rad Disk Sr)」で使われている分子認識キレート剤です。

下に、6月にこのニュースで紹介した納豆菌の芽胞の「ジピコリン酸」を再掲します。

よく見て下さい。ストロンチウムの合成キレート剤は、納豆菌のジピコリン酸を二つ合わせたような基質の化学構造です。



納豆菌の芽胞に含まれるジピコリン酸



【ものづくり、人づくり、地域づくり】 震災・原発事故汚染から半年

**東海第2原子力発電所
村上村長が
「廃炉」を国に要請**



東海村の村上村長さんが10/11日、細野原発事故担当相、中川文科相と相次いで会談。「立地条件として不適切、老朽原発」、「半径30キロ圏内に100万が住み、避難計画策定は不能」として、東海第2原発の廃炉を求める文書を手渡しました。



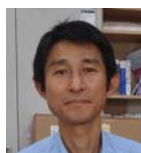
**東海村・村上村長にみんなで
応援・連帯メッセージを送ろう！(別紙)**

- 「廃炉を求める署名」相沢さん(東海村村議)からの呼びかけ(別紙)
- 取手市議会は「東海第2原発を廃炉を求める意見書」可決(9/29)

- 東海第2原発廃炉を求める署名第二次～先週1週間の署名集約1,351筆
第一次提出済2,941筆。みんなの声を集めて東海第2原発再稼働停止、廃炉へ「東海第2原発廃炉署名」の第二次々切は10月いっぱいです。
- 今週より、商品カタログに「放射能検査結果の表示」を開始します。
- 10/18(火)～23(日) つくば美術館にて『テレジン収容所の小さな画家たち展』
10/18には、野村路子さんによるギャラリートークと、野村さんを囲んでのお話し交流会が開催されます。
- 10/20(木)、福島の子供たちに和綿ふとん20組を手渡しに。
福島で頑張るお母さんたちと交流(郡山あいコープふくしまへ)
- 10/30(日)、小川仙月さんによる脱原発講演会 ポリテクセンター茨城
『チェルノブイリとフクシマ、放射能被害～東海第2を廃炉にする』
- 11/5(土) 生協まつり「発酵と復興！みんなの協同の力で元気に」会場生協本部

【脱原発くらし見直し委員会主催】講演会(第1回)

いち早くチェルノブイリに入り、その実状を日本に紹介した
小川仙月さん 講演会



「チェルノブイリ・フクシマ～放射能被害、東海第2を廃炉にする」

【日時】 **10月30日(日) 午後1:30～4:30**

【会場】ポリテクセンター茨城 (常総市水海道高野町目下591 国道294号 常総警察署隣 tel/0297-22-8800)

【小川仙月さん】

筑波大卒。チェルノブイリ事故後に一人白ロシア共和国(現在のベラルーシ)に渡り、放射線の被害で入院している子供たちや親たちと会い話を聞いて帰り、「白ロシアからの手紙」という冊子にまとめ、チェルノブイリの被害の現実を伝えてくれました。以後、お仕事のかたわら原発問題を市民の立場から研究しつつ、被

害を受けた現地の人々の声に根ざした訴えを続けています。現在、建築士・福祉住環境コーディネーターとしてつくば市役所(桜支所)前で「小川バリアプラン」経営。

報告を最初に聞いた茨城県南部のお母さんたちが中心になって「たんぼぼ会」を結成。毎月勉強会と活動を続けており、常総生協の組合員さんも世話人になって

脱原発委員会主催 講演会①

10/30 小川仙月さん「チェルノブイリ・フクシマ～放射能被害、東海第2を廃炉にする」参加申込

(コース名) _____ (班名) _____ (お名前) _____ 人数 _____ 人

(tel) _____

【食品放射能検査】

「放射能検査結果」をカタログに表示します。

これまでは「一覧表」および「追加の別表」で放射能検査結果をお知らせしてきましたが、「**食材を注文する時に判断できるように**」ということで、まだすべてを測定できていませんが取り急ぎ、今週配布の商品カタログから放射能検査済みの商品の検査結果を商品枠の下に表示することとしました。以下、留意して頂きたい点をお知らせします。

【1】表示の見方(例)

検査・表示対象の放射能核種 セシウム137、134 (ヨウ素131は現時点では全不検出のため省略。ストロンチウム90については土壌の検査を予定しています)			
	【不検出】	【検出】	
カ タ ロ グ 表 示	 浅野さん(茨城県・常総市) 62 ほうれん草 秋口はトンネル、以降は露地栽培。人参でおなじみ、常総市の浅野さんより。農薬無散布。 1束 165円(税173円) 茨城県 【放】不検出<17.7<17.2	 ジッパー付きの袋で必要量使えて便利。 塩屋(茨城県・ひたちなか市) 96 酒沼しじみ(冷凍・徳用パック) 全国でも有数の大和しじみの産地、酒沼(ひぬま)より。砂抜き後バラ凍結。凍ったまま加熱調理して下さい。 凍 500g 730円(税767円) しじみ(茨城県・酒沼) 【放】 ¹³⁷ Cs=8.0	 農業が一番多いとされている日本茶。静岡の大石さんは農業を使わないお茶栽培を頑固に守り続けています。 大石製茶(静岡県・静岡市) 388 やぶ北茶 上茶 賞180日 100g 935円(税982円) 茶葉(静岡県) 【放】 ¹³⁷ Cs=45.9 ¹³⁴ Cs=35.3
説 明	セシウム137・134ともに検出限界以下で検出できませんでした。	セシウム137が「8.0Bq/kg」検出されています。ご注意ください。 摘んだばかりの「生葉」の検査で、セシウム137が「45.9Bq/kg」、セシウム134が「35.3Bq/kg」ともに検出されています。	
解 説	「検出限界」は ¹³⁷ Csが17.7Bq/kg、 ¹³⁴ Csが17.2Bq/kgです。もし仮に検出限界ぎりぎり含まれていたとすると35Bq/kg。1束約300gで10.5Bq。茹でておひたしにして1人1食50g食べたると1.75Bqの摂取となります。	「身」を取り出して1kgに含まれる放射能を検査しています。しじみ汁1杯・20粒で約80g、身はその35%ですので正味28g。身1kg=1,000gにつき8Bqですので28gのしじみの身に含まれる放射能は「0.224」です。なお「汁」を測定しましたが微量で検出不能でした。 製品の原料となる荒茶(生葉を蒸して揉んだ段階)で合計258Bq/kg出ています。しかし、お湯で抽出した「飲用茶」を外部検査に出した結果は「不検出」(検出限界は ¹³⁷ Csが5.2Bq、 ¹³⁴ Csが4.9Bq)だったことから供給されています。セシウムはタンニンにキレートされている？	
	※ お米につきましては、一覧表示しています。		

【2】放射能検査対象の範囲・・・関東1都6県および東北6県を中心に以下の通りです

検査対象	対象区域	対象県	備考	今後の予定
農産品 および 農産加工品	関東1都6 県および 東北6県	茨城県・栃木県・群馬県・千葉県・埼玉県・神奈川県・東京都・福島県・宮城県・山形県・岩手県・青森県・秋田県	○主食となる米は産地限定せずに検査します。 ○お茶のような場合は静岡県であっても検査対象とします。 ○菌茸類は原木や菌床オガクズの汚染があるので全産地を検査します。	○生産ほ場(田畑)の土壌放射能検査は毎年3月に定期検査を実施します。 ○2012年年明けより、いよいよ左記産地の穀類(小麦・米)や農産物(大豆等)を主原料とした「加工品」が検査対象となります。
水産品 および 水産加工品	関東太平洋沖、三陸沿岸、北海道南部海域での漁獲魚		○鮮魚や活貝を除いて、現在企画されている水産品・海藻類の原料は原発事故前の原料です。 ○2011年3月以降の漁獲原料(魚)・収穫原料(海藻類)に切り替わる際に検査対象となります。	○食物連鎖の上位魚への生物濃縮が2012年より始まりますので、鮮魚を含めて検査対象となります。
畜産品 畜産加工品			○精肉・肉加工品(ハム・ソーセージ、牛乳・乳製品等、「飼料(エサ)の汚染」が問題となるものは地域に関係なく検査対象とします。	
加工食品			別表の通り、2012年以降、11年産原材料による汚染の拡散が考えられるため、生産者とよく連携をとりながら、原材料の調達にあたって放射能検査を随時実施してゆきます。	

【3】表示のタイミングと補足

カタログお届け週の1週間前の月曜日までの検査結果を掲載します。

野菜や果物でシーズン初のもの、生育期間の短いもの、生育不良等でカタログ制作時に検体がなく検査ができないものがあります。但し、果物類は生産者の協力で、初出荷前であっても収穫前の未熟な段階で検査用の検体を送ってもらい検査するようにしています。**カタログ制作時までには検査が間に合わず、しかしカタログお届け時までの1週間の間に検査ができた場合は、配送時の「商品情報」でお知らせします。**

今週11月1回の場合、No.63水菜、No.70大根、No.71かぶ、No.89舞茸など。

【4】加工品への汚染拡大について

原発事故後の原材料は今後「加工品」にまわってゆきます。以下、今後の見通しを示します。

加工品	主原料		備考
豆腐	大豆・水	(おかべや)2012年3月位より11年産の使用予定。但し、豆腐原料は熊本産で、「ゆば」原料が北海道です。地下水汚染を監視します。(丸和食品)2012年中は原発事故前の備蓄大豆でゆけそうです。	※2011年産大豆の収穫は間もなく11月～12月収穫です。加工生産者の手元に入るのは、2012年3月頃になります。
納豆	大豆	納豆業界では大豆は2年分を備蓄しているのので、原発事故後の大豆は2013年以降が問題となります。	やさとの納豆用契約栽培大豆、奥久慈大豆の契約大豆の収穫を待って検査します。登喜和食品の納豆大豆は2012年3月から変わるものがあり、原料大豆の検査をします。
味噌	大豆・麦・米	来年3月くらいまでは原発事故前の原料です。	4月以降の2011年産新物の仕込み前に大豆のサンプリング検査を実施する予定です。
醤油	大豆・小麦	(沼屋本店)すべて国産大豆・小麦なので産地別に原料の放射能検査を実施予定。事故後の大豆を使った醤油が供給されるのは2014年春からになります。(入正醤油)大豆は米国産、小麦がカナダ産のため検査対象外。	11月供給予定の「醤油もろみ」ならびに来春供給予定の「常総生協オリジナル醤油」の原料大豆、小麦は備蓄してあった2009年産大豆の2年仕込み品です。
日本酒・米酢	米	寺田本家の清酒の仕込みが年明けからはじまり、製品として2012年9月ころから。	主原料が関東・東北のお酒、お酢ともに製品を検査します。
パン	小麦	12月前後より2011年産になります。多くは北海道産。検査対象はボランのパン工房に依頼しているつば産契約小麦。	2011年産はすでに収穫されていて、茨城・千葉産小麦の玄麦は不検出～150Bq/kgの汚染状況です。製粉後の小麦粉の検査に入ります。
うどん	小麦	12月前後より2011年産になります。	ほぼ北海道産小麦です。一部埼玉産は検査。
そば	そば	概ね10月より2011年産に。	現在岩手・長野産「新そば」(乾麺)は不検出。
麦茶	大麦	庄内の麦茶が9月末より新物で不検出(<9.2、<8.1)です。六条麦茶はまだ2年前の原料です	2013年以降の製品の検査を実施します。

●「検出限界値」について

検査は現在、生協で初年度緊急対応用として購入した「食品放射能検査器」(日立アロメディカル社製NaI)で食品1検体60分(3,600秒)の検査を主とし、「検出限界」がセシウム137・134ともに各15⁺ケル/㎏前後です(密度が低く軽いと検出限界が高くなってしまいます)。したがってセシウム合計の検出目標が概ね30⁺ケル/㎏以上となっています。

10⁺ケル/㎏以下の濃度または検出限界の表示がある食材は、外部検査機関(Ge半導体検査器)での検査結果です。

現在、生協にある検査器の精度を高めるために、
①原子力発電所で使用している鉛遮蔽体のカバーで検査器を包み込む手配をしました。
②また、検査場所をバックグラウンド放射線量の低い

い場所への移動または部屋の改装を検討しています。

●Ge半導体検出器の整備へ

上記は、原発事故による放射能に汚染されて自主対応を迫られた初年度は仕方がないものの、今後長期間の対応となりますので、次年度以降を考慮して1⁺ケル/㎏以下を測定できる「Ge半導体検出器」を購入することにしました(子供たちの被曝を少しでも回避するためには、健康はおカネには代えられないとの結論となりました)。

納期が来年3月末という予定のため、それまでの期間につきましては「初年度暫定」とさせて頂き、必要に応じて外部検査で対応いたします。

●2012年度検査体制の確立に向けて

来年3月までに資金や人的態勢を整えて組合員・生産者ともに放射能汚染への対策がとれるよう頑張